

① 高齢者が地域で安心して暮らし活躍できる環境づくりについて

高齢化が進行する中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境を整えることは重要です。高齢者支援は、介護や見守りだけでなく、社会参加、生きがいがづくり、健康維持、介護予防、孤立防止といった観点を含めて考えていく必要があります。また、高齢者がこれまで培ってきた経験や知識を生かし、地域の中で役割を持ちながら活躍できる環境づくりも大切です。特に、就労の機会を確保することは、収入面だけでなく、社会とのつながりや生活の張り合い、生きがいの面からも意義があると考えます。

一方で、働く意欲があっても、希望に応じた就労機会が十分に確保されていないのではないと思われる面もあります。高齢者の就労機会の確保については、シルバー人材センターをはじめとする関係団体との連携や、町の委託事業等を通じた活躍の場の確保が重要であると考えます。今後さらに高齢化が進む中、本町として高齢者支援をどのように充実させ、社会参加や就労支援につなげていくのか、町の認識と今後の取組について伺います。

- (1) 高齢者支援について、町は社会参加、健康維持、介護予防及び孤立防止の観点をどのように位置づけているのか。
- (2) 高齢者が地域の中で役割を持ち、活躍できる環境づくりについて、どのように取り組んでいるのか。
- (3) 高齢者の就労支援や就労機会の確保について、町はどのような考え方で進めているのか。
- (4) 働く意欲を有する高齢者のニーズや、現在の就労の受け皿について、どのように把握し、どのような課題認識を持っているのか。

② 長与総合公園水泳プールの安全性・プライバシー保護及び今後のあり方について

長与総合公園水泳プールは、町内における貴重な屋外プール施設であり、夏季に子どもたちが水に親しむ場として、これまで一定の役割を果たしてきました。

一方で、同施設は設置から長い年月が経過し、老朽化や維持管理費の増加が懸念されます。また、限られた開場期間のために多額の経費を要しており、今後の維持管理のあり方について検証が必要であると考えます。さらに、利用する子どもたちの姿が町道など外部から見えやすい状況にあり、安全面、防犯面、プライバシー保護の観点から課題があるのではないかと感じています。国においても、児童生徒等を対象とした盗撮事案等を受け、盗撮の起きにくい環境整備や施設の定期的な点検の重要性が示されています。

また、学校施設整備の指針においても、プール周囲には遮へい板や柵等を設けることが重要とされています。町民プールは学校施設ではありませんが、子どもたちが水着で利用する公共施設であることを踏まえれば、同様に、外部からの視線や撮影リスクに配慮した施設管理が求められるのではないのでしょうか。町内唯一の町営プールであるという必要性を踏まえ、早急な対応と中長期的な施設のあり方をあわせて検討する必要があると考えます。そこで、以下について伺います。

- (1) 長与総合公園水泳プールの利用状況、維持管理費、使用料収入、一般財源からの負担額について伺います。
- (2) 町道など外部から利用者、特に子どもたちの姿が見えやすい現状について、安全面、防犯面、プライバシー保護の観点から、町の認識を伺います。
- (3) 夏休み前の利用開始に向け、現地確認を行い、目隠しや注意喚起表示など、早急にできる対策を検討する考えはないか伺います。
- (4) 老朽化、維持管理費、財政負担を踏まえ、必要な改修、長寿命化、民間施設

	等との連携も含め、今後の施設のあり方を検討する考えはないか伺います。
--	------------------------------------